

# みんな集まれ！ Eフェスタ2014 ワークショップ・展示の出展を募集します

## ワークショップ

期間：9月6日（土）～12日（金）  
場所：男女平等推進センター会議室

## 展示

期間：9月6日（土）～13日（土）  
場所：ウイング・ウイング高岡1階  
交流スペース

9月6日（土）～13日（土）の期間、E ネット（高岡市男女平等推進センター登録活動団体ネットワーク）主催による、E フェスタが開催されます。E フェスタでは「協働」や「生き方」、「まちづくり」等をテーマにワークショップや展示、メイン事業が行われます。ワークショップや展示への参加団体・グループを募集します。

【申込み締切り】 6月20日（金）  
【申込み・問い合わせ】  
男女平等推進センターまで  
電話 0766-20-1810



# 高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7  
(ウイング・ウイング高岡6階)  
tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp  
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

# センターだより

2014  
6月1日 発行



「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。

## 予告

7月から申込みを受付ます

## 女性のための自己尊重 (self-esteem) トレーニング

自己尊重トレーニングを通じて、自分の思いや気持ちを大切に考える方や、よりよい人間関係を作る方法を学びます。

第1回	7月6日（日） 10:00～12:00	「わたし」を知ろう
第2回	7月13日（日） 10:00～12:00	「わたし」の感情を受け入れよう
第3回	7月20日（日） 10:00～12:00	「わたし」の価値観を見直そう
第4回	7月27日（日） 9:30～11:30	「わたし」を大切にしよう

講師 ウィメンズカウンセリング富山  
定員 20名 / 受講料 無料  
対象 高岡市内在住か通勤・通学する女性  
場所 男女平等推進センター会議室  
申込・問合せ 男女平等推進センターまで

## あなたの地域・グループなどで 出前講座を活用ください

男女平等推進センターでは、DV（ドメスティック・バイオレンス、夫婦等、親しい男女間の暴力）を含め、男女平等、共同参画について広く知っていただくため、みなさんの地域、団体・グループ等へうかがい、希望されるテーマ等にそった出前講座を開催します。経費は無料です。お気軽にお申し込みください。

例えばこんなこと・・・

- 男女平等推進センターについて
  - ・役割と活動内容
  - ・男女平等・共同参画
- DVについて
  - ・DVのないまちに
  - ・DV被害者支援
- トークサロン
  - ・～自分の思いを話してみよう～ などなど



## 高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出しや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日  
毎月第4月曜日・12月29日～翌年の1月3日

〒933-0023  
富山県高岡市末広町1-7（ウイング・ウイング高岡6階）  
TEL (0766) 20-1810・FAX (0766) 20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp  
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

### <相談室>

専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。

相談時間  
月・火・水・金・土 9:30～16:30  
木 14:00～20:00

相談室専用電話  
(0766) 20-1811



高岡市は男女平等・共同参画宣言都市です。

「認め合い 支えあい 共に輝く ひととまち」をみんなで目指しましょう。



## コミュニケーションを大切に

高岡市男女平等推進センター所長

がまだ まさひろ  
蒲田 政裕

皆さん、初めまして。この4月から男女平等推進センター（以下、センター）所長に着任しました。平成16年4月の開所以来、初めての男性所長だそうで、緊張の面持ちで仕事に取り組んでおります。これから、皆様方とともに事業を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、センター事業の大きな柱の一つが、DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談です。DVとは配偶者など親しい男女の暴力であり、身体的暴力、精神的暴力などのことをいいます。残念ながら、相談件数は年々増加傾向にあります。もう一つの柱が、社会や地域、そして家庭での男女平等・共同参画を進めることであります。社会では、各部門で女性の進出が図られてきており、家庭でも男性の家事や育児が少しずつではありますが、進んできています。しかし、地域に戻ると「男性は仕事、女性は家事」という考えが残っており、なかなか進んでいないのが現状だ

と思います。

DVや男女平等・共同参画の取り組みを支えている各グループ・団体などへの支援や情報交換なども重要な柱の一つです。そして、これらのことをまとめて人権尊重の意識づけや男女平等・共同参画の意識啓発など、情報発信や啓蒙活動も大事な事業であります。少しでも男女平等・共同参画の社会になるよう取り組んでまいりたいと思っております。

話は変わりますが、我が家の座敷には「和顔愛語」という書が掛けてあります。これは、やさしい顔つき（笑顔）、穏やかな親しみのある言葉づかいをもって人と接するという意味です。祖父の代からあったようで、我が家の家訓となっています。人と人とのコミュニケーションを図るときは、初心忘れずではありませんが、「和顔愛語」を忘れず人と接するよう心がけています。このような気持ちが男女平等・共同参画の社会に一步でも近づくのではないかと確信しております。